

一般質問

代表質問

第8回（2月）定例会では、市長の令和3年度施政方針に対する代表質問が行われ、7つの会派及び無所属の議員から質問がありました。

なお、今定例会では、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、市当局が新型コロナウイルス感染症対応に注力できるよう、一般質問のうち個人質問は行わず、代表質問のみ行いました。



※代表質問は全て、「一括質問一括答弁方式（通告した全ての内容を一括して質問した後、市当局が一括して答弁する方式）」で実施しています。

※議員名の下にQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。

全ての質問項目（通告一覧）はこちら



会 政 志

本市における
新型コロナウイルス感染症対策は

渡邊 博夫



問 本市における新型コロナウイルス感染症対策は。

答 市長／本市の対策については、これまで様々なタイミング・分野において時期を逸せず迅速に対応してきていて考えている。感染防止対策は、市の取組に加え、市民や事業者の懸命な努力もあり、現時点における本市の感染者数は減少傾向にあるものと認識している。今後

も、学校における感染症対策備品整備などにより市民の安全確保を図るほか、経済変動対策資金利子補給事業の実施により事業者を支援するなど、様々な取組を着実に実施していく。また、本市におけるワクチン接種については、国から示された方針等を基に、沿津医師会などの関係機関と協議を重ね、円滑なワクチン接種実施のため、万全を期していく。

問 鉄道高架事業に係る令和三年度の取組は。

答 市長／鉄道高架事業の前提となる新貨物ターミナルの用地取得が完了したことから、令和三年度は、新貨物ターミナルの造成工事に着手するほか、新貨物ターミナルと同時に施工する交差道路の構造物の設計を引き続き実施するなど、一日も早く市民が事業の効果を享受できるよう、これまで以上にスピード感を持

ち、県と連携しながら事業の推進を図っていく。

問 本市財政の健全性に対する認識は。

答 市長／コロナ禍においても、常に財政規律を堅持しつつ、地方創生臨時交付金など国・県の補助金を有効的に活用しながら進めており、財政調整基金残高や市税収入及び市債残高の状況などから、健全な財政状況が確保されているものと考えている。今後も引き続き、国・県の補助金を活用しながら、財政調整基金残高にも注視しつつ、健全な財政運営に努めていく。



▲キラメッセぬまづで行った
ワクチン接種のデモンストレーション